

平塚協会報

発行所 公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 平塚支部 発行責任者 高橋 千之

賀
正



新年を迎えて

(公社)神奈川労務安全衛生協会
平塚支部

支部長 中澤 和也

〈横浜ゴム平塚製造所〉



会員事業場の皆様、新年明けましておめでとうございます。
平素より、当協会の運営、各種事業への参画など、日頃より多大なるご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

また、平塚労働基準監督署をはじめ、関係官庁、諸団体、ならびに役員、会員事業場の皆様のご協力により、平成29年度の事業計画を順調に進めて来られましたことにつきまして重ねて御礼申し上げます。

さて、日本経済は戦後最長の景気拡大となった「いざなぎ景気」(2002年2月～2008年2月)と遜色のない設備投資の回復力を示す一方で、個人消費については、いざなぎ期が年率+1%程度であったのに対し、現状は+0.5%と見

劣りしていることから、実質賃金の回復力がまだまだ低調であると言え、2020年の東京オリンピックに向けて、更なる景気拡大と実質賃金の回復を願うところです。

一方、本年度は第12次労働災害防止計画(12次防)が公示されて5年目の最終年ですが、平塚労働基準監督署管内の10月末時点での結果は、休業4日以上災害件数は302件で対前年同時期▲34件と減少したものの、死亡災害件数は残念ながら昨年同時期△3件と増加しており、目標達成が厳しい状況となっております。

会員事業場におかれましては、職場で働く全ての皆様の健康と安全を事業運営の第一優先項目に掲げていただき、絶対に災害を起こさない、健康を損ねる状況を作り出さない職場環境作りにはしっかりと取り組んでいただきたく、宜しくお願い申し上げます。

本年も、平塚支部として皆様の取り組みを全面的に支援させていただき、改善に向けた活動を共に進めてゆきたいと考えていますので、本年もご理解と、ご支援の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

最後に、会員事業場の皆様のご発展とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

平塚労働基準監督署

署長 湯川 和彦

平成30年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、昨年は、(公社)神奈川労務安全衛生協会平塚支部及び会員事業場の皆様方には労働災害の防止を始めとした労働基準行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

今年も引き続き、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、「働き方改革」は、現在、政府において最重要課題と位置づけられているところです。近年は年末の風物詩ともなっている「新語・流行語大賞」に「働き方改革」という言葉がノミネートされたことは、まだ皆様方のご記憶に新しいことと思いますが、大賞はおろかベスト10入りも果たせず、いささか残念な気持ちではありますが、それはさて置き、昨年秋の臨時国会の冒頭での衆議院の解散により、長時間労働の是正を図るための時間外労働の上限規制を導入するなどの改正法案の国会提出が先送りとなってしまいました。厚生労働省としては速やかに働き方改革関連法案を国会に提出すべく準備を進めているというふう聞いております。

ちなみに、働き方改革関連法案には、時間外労働の上限規制に加え、①中小企業における月60時間超の時

間外労働に対する割増賃金率の見直し(猶予措置の3年後の廃止)、②一定日数の年次有給休暇の確実な取得、③フレックスタイム制及び企画業務型裁量労働制の見直し、④特定高度専門業務・成果型労働制(高度プロフェッショナル制度)の創設なども盛り込まれるようです。

働き方改革については、わが国の雇用の7割を占めるといわれている中小企業・小規模事業場における推進が極めて重要であることから、神奈川労働局及び管下労働基準監督署では、とりわけ中小企業・小規模事業場に対する支援策についてのきめ細かい周知や利用について働きかけを積極的に行っていくこととしています。

ところで、ご案内のとおり、今年は四半世紀ぶりに横浜で「全国産業安全衛生大会」が開催されることになっています。大会が、成功裡に開催されますよう会員事業場の皆様方の多数のご参加をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年も平塚支部及び会員事業場にとって幸多き1年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成30年 年間標語

健康な心と体で安全作業 目指すは笑顔の無災害

安全衛生祈願、経営首脳者セミナー



平成30年1月12日(金)、新春の青空の下、当協会の年頭恒例行事である安全衛生祈願が、秦野市平沢の出雲大社相模分祠で行われました。

今年も来賓として神奈川労務安全衛生協会本部より竹内常務理事、平塚労働基準監督署より湯川署長、青山安全衛生課長をお招きし、当協会支部長、3副支部長並びに4部会長をはじめ各会員事業場より77名参集しました。拝殿内では宮司さんの祈願、巫女の舞の後、玉串拝礼を執り行い、全員で1年間の安全と健康を祈願しました。

その後、隣接の出雲記念館へと会場を移して、経営首脳者セミナーが開催されました。

松野副支部長の開会の挨拶及び湯川署長来賓挨拶のあと、行政講演として、神奈川労働局労働基準部長久富氏より「働き方改革について」と題し、中小企業・小規模事業者における働き方改革に向けた政府の取組み状況を中心にお話をいただきました。

働き方改革の趣旨・ポイントから現状の労働制度と働き方にある課題を明確にして、労働者の視点に立った改革により労働生産性の向上を目指すこと、そして中間層が厚みを増し、消費を押し上げ、「一億総活躍」の未来を切り拓いていく考え方を、スライドを交えてわかりやすくご説明いただきました。

続いて、特別講演として、青木安全靴製造(株)の青木社長より「安全靴のいろは」と題してご講演がありました。青木社長は日本で最初に安全靴を製造した会社の社長であり、2016年NHK放送の「超絶 凄ワザ!!!」に安全靴対決で出演され、みごと勝者となりました。当日は安全靴製造の歴史やNHK出演時の裏話等を交えながら、安全靴についての豆知識も新鮮で、青木社長の製品作りにかかる熱い情熱と職人気質が感じられる内容でした。

最後に、副支部長小島氏の閉会の挨拶でセミナーは盛会裏に終了しました。(株)山川機械製作所 五嶋 記

平成29年度 神奈川労務安全衛生大会開催される

去る10月19日(木)「川崎市教育文化会館」において、平成29年度神奈川労務安全衛生大会が川崎北支部と川崎南支部の共同運営で開催されました。

第一部の「表彰式」では労務安全衛生功労賞で63名、支部別安全競争で4支部の表彰が執り行われました。労務安全衛生功労賞は、神奈川県下事業場における労務管理、安全衛生活動の向上に貢献された方、および本協会の事業活動の遂行に功績のあった方を対象に授与されるもので、平塚支部からは以下の4名の方が受賞されました。

橋本 紳司氏 (株)トープラ秦野工場
松岡 泰夫氏 第一三共プロファーマ(株)平塚工場
片岡 浩氏 三菱ケミカル(株)平塚事業所
高橋 千之氏 大東化学(株)平塚工場

誠にありがとうございます。受賞されました方々におかれましては、益々のご活躍を祈念申し上げます。

また、休憩後の第二部では、順天堂大学医学部 特任教授 奥村康氏に「免疫と長生き -不良長寿のすすめ-」と題して、ご講演いただきました。貴重な講演に対し盛大な拍手をもって本大会は終了となりました。

スタンレー電気(株) 鈴木 記



「初めての工場勤務」

(株)パイロットコーポレーション平塚事業所 保健室 周藤 由紀子

昨年4月からパイロットコーポレーション平塚事業所保健室に勤務しております周藤と申します。

産業保健は、卒業後就職した企業以来の何十年ぶり、さらに工場は初めてで、特殊健診・職場巡視など工場ならではの業務に毎日奮闘しております。

弊社は社員約350人、派遣約200人、同じ敷地に関連会社も2つあり、総勢800人弱の規模です。

業務内容は、研究・開発から製造、物流まであり、働く方も年齢層が広く、外国人の方もおり、昼時の食堂では外国語もよく聞かれ、日本の製造業の縮図を見ているように

感じます。

健康面では、社員の平均年齢が男女とも40代、健診ではメタボリックシンドロームや生活習慣病の方も年々多数おられ、循環器疾患、脳血管疾患の予防のため、産業医共々、積極的な指導や、医療機関受診につながるよう努めています。指導した方の翌年の健診結果が良くなっていると、とても嬉しく感じます。

一人職場のため、協会平塚支部の研修や、産保会の先輩方との情報交換は大変ありがたいです。

これからも、どうぞよろしくお願い致します。

雑感

「ねこ、ネコ、猫」

古河電気工業(株) 市川 重行

ネコ。所謂イエネコは鼠を捕るために、砂漠等に生息していたリビアマネコを家畜化したものが始まりで、日本では平安中期には中国から輸入された「唐猫」が宮中にいたとか。当時は「ねこま」と呼ばれていましたが、その「ま」が取れて「ねこ」となり、苗を荒らす鼠を捕まえて害をなくす獣、「猫」という漢字になったとのこと。当時、猫は「十年あまりも生きたら、すべて言葉をしゃべれるようになり、更にそれから四、五年もすると不思議な能力を身に付ける」と考えられていました。

さて、我が家にも、カミさんと結婚して漏れなく付いてきた3歳の雄猫ゴン(雑種)がおりました。最初は単なる暴れん猫(びょう)でしたが、そのうち、ニャー=トイレが汚い、ミャー=ご飯がない、エサを食べながらウニャウニャ=ご飯が遅い等々、いろいろ喋っていました。ゴン15歳、カミさん曰く、眠っている長男を上から見つめて、額の上に手を置いたとか。その後長男は厳しいと思っていた第一志望の中学に合格。数年後、 gon は長男に看取られて天寿を全うしました。享年19歳、尻尾はまだ二股にあらず。

ゴンロスから一年半後、今度はラグドールという種類の雌猫ルーナを飼うことに。一般的なラグドールの特徴とは真逆で、噛む・引掻く・抱っこが嫌い。最近6歳になり、漸く落ち着いてきたのか、フミャー=体を撫ぜろ、フグー=気持ちいい、ウニャッ=おやつが欲しい、と少しずつ言葉が増えていきます。世間では2025年問題が取りざたされていますが、その時ルーナは14、5歳。我が家にビッグサプライズとなる奇跡を起こしてくれると期待している次第です。



雑種・雄猫



ラグドール・雌猫

緑十字賞受賞おめでとうございます!

— Y・カノン 矢崎ますみ氏 —

第76回全国産業安全衛生大会(11月8日～10日 神戸)に於いて、労働衛生コンサルタント事務所 Y・カノン代表 矢崎ますみ氏が平成29年度「緑十賞」を受賞されました。

この賞は、長年にわたり我が国の産業安全または労働衛生の推進向上に尽くし、顕著な功績が認められる個人、職域グループ等に対して中央労働災害防止協会が表彰するもので、本年度は90名の方々が受賞されました。

今回の受賞は日々の労働衛生活動や、熱意のこもった指導が認められたものです。

矢崎氏のさらなる御活躍をお祈りいたします。

おめでとう御座いました。

日鍛バルブ(株) 西田 記



編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年も皆様にとって良い年となりますようお祈り申し上げます。

「生まれる」という話題について2つ記したいと思います。

1つは東京上野動物園で 昨年6月にジャイアントパンダ、シャンシャン(香香)が生まれたことで元気な姿がTV等で紹介されています。昨年11月末現在で体重も10(kg)を超え食欲も旺盛で愛嬌をふりまき母親のシンシンの元で毎日過ごしています。この協会報が発行される時は一般公開されている事と思います。

もう1つは2020年に東京で開催される夏季オリンピック・パラリンピックの開会式が行なわれる「新国立競技場」

の誕生です。昨年11月中旬に工事中の「新国立競技場」へ足をのぼしてみました。競技場にはいくつものクレーンが立ち並び、観客席の3階部分がつくられているところで、部材がクレーンで吊り上げられ取り付け作業が行なわれていました。完成は2019年11月とのことでこちらも楽しみです。オリンピック・パラリンピックでここに世界各国から観光客が訪れ、各競技の選手に声援を送るのかと思うと感慨深いものがありました。

時代は人がつくっていく訳ですが、平塚支部は昭和22年に設立され創立70周年を迎えました。平成30年4月には創立70周年の記念式典が開催される予定です。

諸先輩方が築きあげ今日に至っている訳ですが、ここにくるまではいろいろ紆余曲折があったものと思います。改めて70年という年輪をかみしめ、先輩方の功績に深謝するとともにこれからの協会、支部の発展を祈念申し上げます。

大東化学(株) 高橋 記